県議会議員
のだ哲生（てつお）
NoDa Report（県政報告）
vol. 8
野田哲生
議会活動レポート第８号
2021年８月20日発行

マスクなしの笑顔で会える生活まで
みんなで一丸となってこの時期を乗り切りましょう!

６月定例会

ごあいさつ

皆様には、暑中お見舞い申し上げます。

６月15日に開会した６月定例会での**大きな議論**として、ＪＲ西日本が検討している越美北線や小浜線の減便方針に対する県の姿勢を質すとともに、県議会として、地域の重要な公共交通機関である地域鉄道が将来に存続されるよう国に必要な支援を求める意見書を可決しました。また、県から６月補正予算（100億円）が提出され、ワクチン接種体制の方向性や、経済対策、継続した生活困窮者対応等を審議しました。

私は、この６月議会から１年間「**厚生常任委員会**」に所属することになります。この委員会では健康福祉部や安全環境部の案件を審議しており、コロナ感染症対策やワクチン接種、原発再稼働の安全性など山積する課題について、今議会でも色々な視点から質疑させていただきました。

また、先日起きた静岡県熱海市の大規模土石流災害は、違法な盛土が主な原因だったという報道もあり、民主・みらい会派は、県のチェックが入らない宅地開発以外の盛土の対策について質しました。

県のワクチン接種計画について、国からのワクチン割り当てによるスケジュールが示され、10月中には県民の希望者全てに２回ずつの接種を完了できることが明らかになりました。

旅行もできない、飲み会もできない辛い長い１年半でしたが、もう少しで明るい光が見えると信じて、皆様一丸となってこの時期を乗り切りましょう！

のだ哲生　オフィシャルホームページのごあんない

ホームページを
開設しました。
是非ご覧ください。

読み取ってください

パソコンからもご覧いただけます。
https://noda-tetsuo.com

☰ をタップ

メニュー画面

- TOP
- ブログ（日記）
- 政策理念
- 県政報告（PDF）
- プロフィール
- お問い合わせ
- 公式LINEを登録する
- Facebookをフォローする

できるだけ更新しています

いろいろなご提言・ご相談などをお待ちしています

月に１～２度配信しています

6月定例会 一般質問 項 目	① 福井駅周辺の将来像について ② 公立高校の情報教科教員について ③ 道路整備プログラムについて

1 昨年の12月議会での提言から社会実験へ 福井駅周辺の将来像を再提言！

昨年の12月定例会の一般質問において、福井駅前の中央大通りをほこみち制度（歩行者利便性増進道路）で道路空間を再配分してキッチンカーなどで楽しく美味しい空間にしてはどうかと提言しました。県と福井市が協議をし、今秋10月に歩道を拡充してカフェテラスなどを設置する社会実験を行うことになりました。実験では課題を洗い出し、本格整備につなげて魅力ある空間になることを期待しています。

駅チカ支局発

歩道拡充 カフェテラスに

中央大通り 10月実験

福井市が「ほこみち制度」導入に向けた社会実験を行う中央大通り北側＝同市大手3で

福井市「ほこみち制度」活用

R3.6.1　県民福井１面

問い 県の所有地である東口広場について、魅力ある玄関口にしていく議論を始める時期に来ている。また、東大通り（通称）けやきストリートの道路空間をもっと生かせるアイデアはあると考えるが、どのような顔づくりをイメージしているのか。

答（知事） 福井市から、新幹線駅の新たに建てる建物に恐竜のモニュメントを置きたいという提案があり、大変面白い試みだと感じている。東大通りは観光バスが出発する場所でもある。一方で地域の方が長く親しんできている道路の空間でもある。地元の意見もよく聞いてどう変えていくのか議論を続けていただく中で、県も応援させていただく。

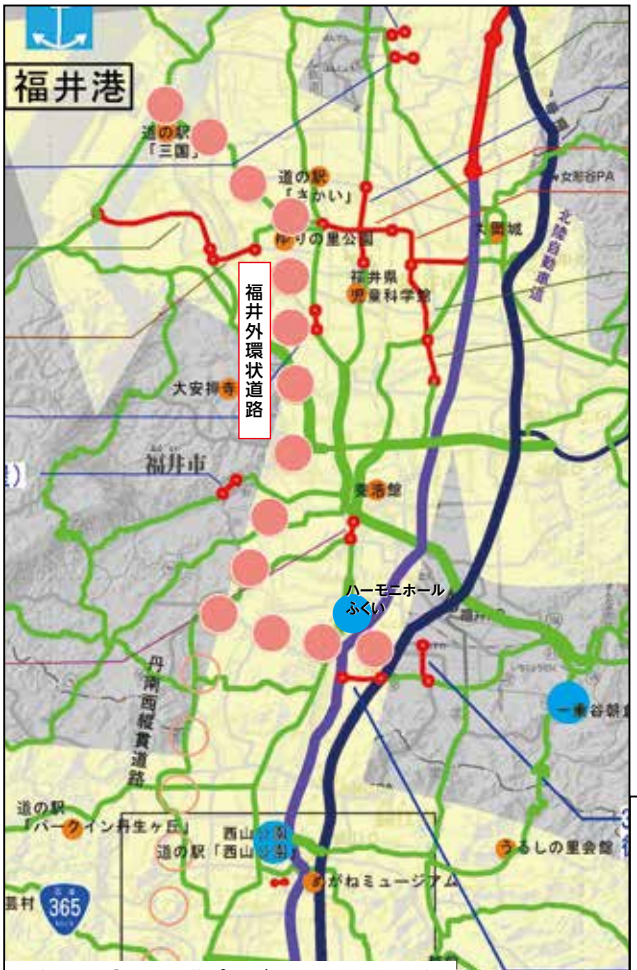
2 2025年大学入学共通テストから 『情報』教科 専門の先生 足りますか？

問い 情報教科の教育について、専門的教員が時代に合ったICT教育を行うべきで、今後のICT教育を充実させるためにも、情報教科教員を毎年定期的に採用すべきであり、現状で不足しているのであれば、当面は、県内の大学教員やIT企業で活躍している方など、特別講師としてICTの情勢を学ぶ機会を増やしていくべき。

答（教育長） 令和２年度教員採用試験から高校情報での採用枠を設け、３年連続で１名ずつ募集している。一般選考だけでなく教育エキスパート特別選考でも志願できるが、企業からのニーズも高く出願がほとんど無い状況である。今後、IT企業等から特別講師を招き、ICTの最新の情勢などを学ぶ機会を増やしていきたい。

3 福井県の10年間（～2030年）の道路計画を決定する 道路整備プログラム が今秋に策定されます

外環状道路構想を事業化検討箇所へ



現在の案「道路整備プログラム2030年の姿」

問い 平成10年に「計画路線」に指定されてから既に23年が経っている「福井外環状道路」の整備は、将来の都市間競争においても重要であり、今年度策定する道路整備プログラムの事業化検討箇所へ位置付けることで、早期に必要性や経済効果を検討していくべき。

答（知事） 福井外環状線は、福井市内の特に南北方向で非常に慢性的に渋滞している交通を逃がすなど大きな効果を発揮する。また、物流や観光、産業の面でも非常に重要な道路と位置づけられている。事業化検討箇所とするかは、坂井市、福井市、国からの意見を聞きながら、他の高規格道路の事業がどれくらい進むかも見ながら検討したい。

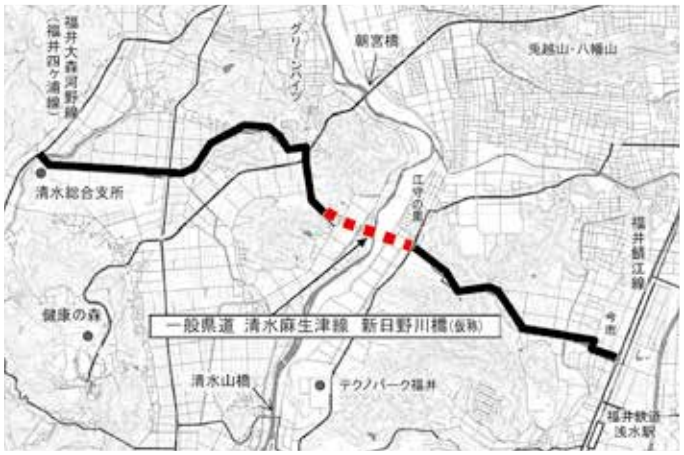
【凡例】
- ：高規格道路
- ：直轄国道（8号, 27号, 161号）
- ：主な県管理道路
- ：事業中箇所
- ：外環状道路ルート
- ：主要観光地
- ：観光地

新日野川橋※の新設は福井市南部の重要な動脈に！

問い 現在一般県道清水大森線の中間地点にある日野川をつなぐ橋がなく、県道が分断され近隣の橋に迂回する必要がある。国道8号の県立音楽堂やフェニックス通りから流入する交通量が増え、西環状線との種池交差点ではボトルネックとなり、時間帯により交通渋滞が発生している。福井市中心部を避けて北へ迂回させるルート確保のためにも（仮称）新日野川橋の新設を早急に進めていく必要があるのでは。

答 日野川を渡る区間950mの道路の概略設計や交通量調査などを実施してきている。

この橋の整備により、市中心部の渋滞を避けて日野川の左岸側の県道や市道に迂回しやすくなり、西環状線などの南北方向の渋滞を緩和する効果も期待できる。新九頭竜橋の整備や布施田橋の旧橋撤去の工事など、他の事業箇所の進捗状況を踏まえ事業化を検討していく。



※仮称

聞くのだ やるのだ つくるのだ もっとイイ！福井県を!!

活動 Activities 福井の繊維技術でメイドイン福井の製品化を目指す！

これまで大手アパレルメーカーなどの請負いで縫製やプリント技術を提供してきた福井の繊維界。福井の技術が連携すればメイドイン福井の製品が実現します。繊維の技術と繊維業界を学び、どのように実現していくか模索していきます。

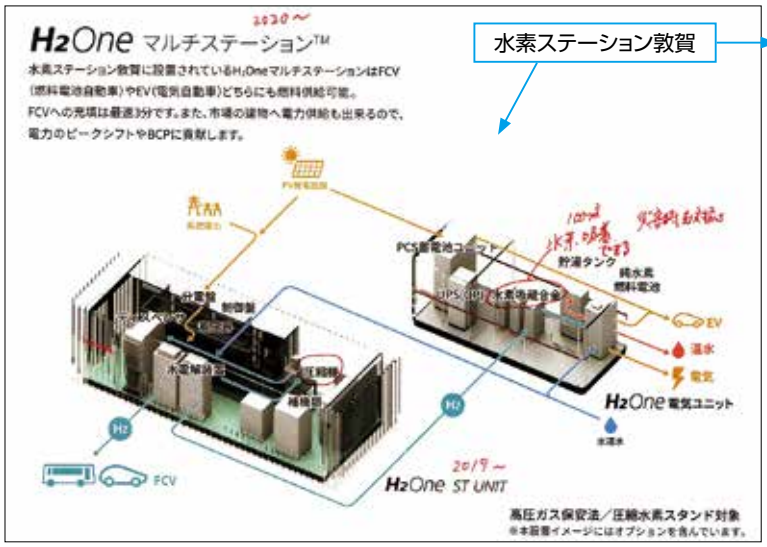
勝山の縫製工場を見学しました

繊維会社の方々と県産業労働部へ製品をPR

私の愛犬のペットウェアを試作してもらいました

視察 Inspection VPP（バーチャルパワープラント＝仮想発電所）が稼動しています（2020～）。

敦賀市に開設された水素ステーションを視察。太陽光発電から水を分解して水素（H_2）を取り出し、圧縮（気体）してFCV（水素自動車）に充填できます。さらに水素吸蔵合金というボックスの開発により水素を貯蔵する事ができ、停電時や電力不足時でも電気を供給できます。



※このシステムは東芝が協力しています

会派視察（7/27）
FCV（水素を使う自動車）の充填ができます

県政報告

コロナ禍の中、人数を制限しながら県政報告を実施しています

活動 Activities ReLIFE活動

森のテラスで生地プリントのデモンストレーション

のだ哲生事務所
〒918-8031 福井市種池町3-36
E-mail：tkannoda@gmail.com URL：https://noda-tetsuo.com